

令和6年度 ともわ乳児園泡瀬第2 自己評価表

ねらい

保育園の役割や社会的責任を遂行するため、法令などを遵守し、保育園を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、保育園の望ましい管理運営するため、今年度の本園の保育・養護全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かすため自己評価表を活用する

* 評価基準

A	十分理解している（十分できている）
B	理解している（できている）
C	努力が必要

【運営・体制】

評価内容	評価	所見
入園児にとって最もふさわしい生活の場になるよう努力している	A	小さな事も施設長へ 相談しながら進めている。 子ども達が集いやすくなる ように環境設定に努め ている。
家庭や地域との連携を図りながら、乳児園の保護者及び地域の子育て家庭に対する支援を行っている	B	
子どもの人権に十分配慮し、子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行っている	A	
個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、その解決を図るよう努めている	A	
第三者委員が設置され、適正な苦情処理がなされることを認識している	A	
自己判断で回答せず責任者への報告をし、解決のための話し合いができる	A	
必要な情報公開の体制がとられていることを理解している	B	

【保育所保育指針】

1. 総則

評価内容	評価	所見
保育の理念や方針が子どもを尊重したものになっており、実施されている	A	クラス会議や職務会議を 定期的に行い、子ども一人 一人の発達を理解するよう 話し合い、色々な意見を出し 合い、保育のフォローの仕方に 生かしている。
園の保育理念、保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した全体的な計画を編成している	A	
指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画に反映している	A	
一人ひとりの子どもの状況や家庭及び地域社会での生活実態を把握するとともに、子どもが安心感と信頼感をもって活動できるよう、子ども主体としての思いを受け止めるよう留意している	A	
一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況について話し合いケース会議を定期的かつ必要に応じて実施している	A	

2. 保育の内容

評価内容	評価	所見
基本的事項としての乳幼児の発達段階や発達過程について理解している	A	言葉あそび、体幹あそび、 英語あそび、リズムあそび 食育活動等、様々な行事を 通して子ども達の興味を 引き出し、自信になるような 活動を実践している。 ・自我の形成段階のトラブル には、保育者が代弁し思いを 受けとめ情緒の安定を図る ように努めている。
乳児は疾病への抵抗力が弱く、心身の機能の未熟さに伴う疾病の発生が多いことから、一人ひとりの子どもの発育や発達状況や健康状態についての適切な判断に基づく保健的な対応を行っている	A	
乳児保育において一人ひとりの子どもの生育の違いに留意しつつ、欲求を適切に満たし、応答的にかかわるように努めている	A	
乳児保育では、探索活動が十分にできるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、様々な遊びを取り入れている	A	
乳児保育では自我が形成され、子どもが自分の感情や気持ちに気づくようになる重要な時期であることから、情緒の安定を図りながら、子どもの自発的な活動を尊重し、促している	A	
子どもの心身の発達及び活動の実態などの個人差を踏まえるとともに、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め援助している	A	
子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で活動する姿を見守り適切に援助している	A	

3. 健康及び安全

評価内容	評価	所見
登園時や保育中の子どもの健康管理を子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	情報と職員間で共有し 健康と安全管理に 努めている
感染症の対応については、発生時にその状況を必要に応じて保護者に周知している	A	
アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもの状況に応じて主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている	A	
様々な食育活動を推進している	A	
保育中の事故の発生に備え、施設内外の危険個所の安全点検や訓練を実施するとともに、外部からの不審者侵入等における訓練など不測の事態に備えて必要な対策を行っている	A	

4. 子育て支援

評価内容	評価	所見
家庭の状況や子どもの発達や育児などについて、保護者との情報交換の機会を設けている	A	子育てカフェや面談の機会も設け 保護者同志のつながりも深め 子育てへの支援をしている
不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見や予防に努めるとともに、保護者への対応について児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制を整えている	A	
保護者の状況に配慮した個別の支援を行っている	A	

5. 職員の資質向上

評価内容	評価	所見
保育の質の向上や改善を図るための取り組みを園内研修や職務会議等で行っている	A	研修等で職員間の意見を 出せる雰囲気づくりに努めている
必要に応じて外部研修に参加している	A	
保護者、園児また職員に関する個人情報保護、秘密保持に関する規定を整備している。	A	